

がんばろうふくしま 国際ロータリー第2530地区東北第一分區

福島南ロータリークラブ

事務局/〒960-8151 福島市太平寺宇通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-23-0375
HP アドレス http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために
2011年-2012年 RI テーマ

■会長：高橋和之 ■幹事：菅原節子
■会報委員長：松崎弘昭 ■副委員長：鈴木光一
■委員：丹治智幸 丹治洋子 福田昌明

平成 24 年 3 月 28 日 (水) サンパレス福島

第 35 回例会 ■メークアップ/22 名 ■修正/67 名 ■修正率/100% ■会員/67 名 ■出席/45 名 ■出席率/67.16%

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 会長挨拶
- 3 財団 フェロワー 贈呈
藤橋 進一郎 会員
- 4 創立記念の思いでスピーチ
金子 興宏 パスト会長
- 5 新会員セミナー報告
笠 雅樹 会員 福田 昌明 会員
渡辺 雅浩 会員 一條 浩孝 会員
- 6 閉会点鐘

懇親会親睦活動委員会

今月・来月のプログラム

4月 24日(水) 地区大会 各委員会報告
誕生者お祝い・誕生者スピーチ

4月 26日(金) 東京麹町 RC 第1回 KRG 懇親ゴルフ会
於：東京ゴルフクラブ

4月 11日(水) クラブフォーラム・第11回理事会

4月 18日(水) 夜間例会 家族観桜会 18時～

4月 25日(水) ゲストスピーチ 安藤元二氏

今週のトピックス

政府は原子力損害賠償支援機構に対し、公的資金一兆円の資本注入した。原発事故によって突然苦難に陥った方々に、一刻も早く賠償金を支払ってほしいものです。と同時に、賠償を求める側も当然の権利の主張と卑しさを混同しないように気をつけなければなりません。

◆会長あいさつ◆ 高橋 和之 会長

二週間ぶりの例会であります。毎週の例会が当たり前になっているせいか、久しぶりの例会のような気がいたします。

さて、25日の地区大会に参加いただきましたロータリアンの皆様お疲れ様でした。表彰ではクラブと個人の多くの表彰をいただきました。クラブ表彰ですが、「ロータリー財団寄付」の「ロータリー財団の年次寄付・恒久基金」と「会員1人あたり年次寄付額」が地区一位に、さらに「米山記念奨学会の寄付額」と「会員一人あたりの平均寄付額」が共に地区第1位でありまして、合計4個の楯をいただきました。計算違いではないのかと思えるほどの快挙でありまして、福島南 RC の存在感をアピールできたと思えます。あらためてガバナー年度の活躍に感謝申し上げます。

本日は、創立記念夜間例会であります。我が福島南 RC の創立は1971年3月31日ですから、今週の土曜日で満41歳の誕生日を迎えます。チャーターメンバーの金子興宏会員、安斎常三郎会員、鈴木恒昭会員はじめ、多くの諸先輩方のお陰で今日まで続いてきましたことに、先ずは感謝を申し上げたいと思います。

組織が長生きをするということは、浮揚策の積み重ねの結果であります。ご存知の通り企業の寿命は三十

年という説がありますが、我がクラブが41年間も長生きできたこと云うことは、先人たちの努力の賜であらうと容易に想像がつかます。

今年度のカルヤン・パネルジー R I 会長は、重点行動に「家庭」「継続」「変化」を強調しております。それを受けて今年度は、クラブビジョン委員会を立ち上げさせていただきました。このことは、とりもなおさず我がクラブの中長期を展望して、より健全により充実したクラブに変身するための、検討諮問機関としての役割を担うものであります。

昨日もクラブビジョン委員長の野地利雄 P P のもとと委員会を開催していただきまして、クラブ内の現状と問題点について検討いただきました。私が想定していたより多くの問題点や改善点があることを共通認識させていただきました。

今後我々は創立45周年に向けて、大きく変わり行くであろう時代と共に、共生していくクラブを目指して変革し続けなければなりません。どうか、ガバナー輩出をさせていただいたクラブの責任として、一歩二歩前進したロータリークラブを目指そうではありませんか。

このあと、親睦活動委員会により懇親会がありますが、我がクラブに貢献していただいた先輩諸氏に感謝をささげ、ご歓談をお願いしまして会長挨拶と致します。

◆財団 フェロワー 贈呈◆ ◆還暦お祝い◆



藤橋 進一郎 会員



大野 順道 会員

◆創立記念の思いでスピーチ◆

金子 興宏 パスト会長



古い人間は新しい人いろいろなことを伝承していくことが必要だと思っています。福島南 RC の創立については、福島クラブがスポンサーになり、特別代表として大原菅一郎先生にご指導をいただきました。創立に向けて核になった方々は、岸本淳一さん(町内会長)、引地豊作さん(東邦南支店長)、石森健三郎さん(三兄工業)、長谷川利雄さん(長谷川看板)、猪野茂さん(県衛生検査協会・医師)等々でした。

創立総会は、1971(S46)年3月31日 レストラン「メイゾン」にて、当初会員30名で行われました。現在残っているチャーターメンバーは、安斎常三郎さん、鈴木恒昭さん、金子興宏の3名です。当時のクラブ概況については、創立3年目の1973年の活動計画からしか残っておりませんが、当初、入会金1万円、年会費7万4千円(内4千円は広告費)、総予算495万円、平均年齢49歳、入会時最年少28歳(鈴木恒昭さん)でありました。また、会員構成も当時は、須川から南とテリトリーが決まっておりました。また、現在の当クラブのバナーとポールハリスの肖像画は第7代会長長谷川利雄さんの製作であります。

振り返ってみれば、キーメンバー無しのスタートになったため、会員の定着が不安定で、会員相互の理解や目的意識の浸透に時間を要しました。そんな中でメリットになったのは、「良くわからないけど兎に角やってみる精神」が芽生え、考えて走るより走りながら考えるという前向きな良き気風になり、それがだんだん充実し、磨きがかかったことで当クラブからガバナーを輩出することができたものと確信しています。

◆新会員セミナー報告◆

□ 福田 昌明 会員



例会で唱和している4つのテストは、どのような意味があるのか質問しました。その中で、一番目の「真実かどうか」について、英訳では、「うそ偽りはないか」という説明を聞いて、早速、仕事の朝礼で使わせていただきました。

□ 渡辺 雅浩 会員



日頃から分かりにくい英語のロータリー用語について教えていただきました。懇親会のウルトラクイズでは、南クラブの名譽にかけて頑張った結果、優勝することができました。

□ 一條 浩孝 会員



セミナーの3月10日は、自分の誕生日でした。次年度は、新人ながらスマイリングの委員長を仰せつかったので、その辺について教えていただきました。

◆懇親会◆



親睦委員会小坂和也委員長の挨拶から始まり、丹治洋子副委員長の軽妙な進行と、本日誕生日を迎えた宍戸英男会員の「今日は私のために・・・」という場を和ませる乾杯の発声で創立記念の懇親会が大いに盛り上がりしました。



◆スマイリングボックス◆

41年の創立記念例会を迎え、諸先輩方に感謝を申し上げます。高橋 和之 会長
創立夜間例会のスピーチ、金子パスト会長ありがとうございました。菅原 節子 幹事
創立夜間例会を祝して 金子 興宏 会員
創立記念例会を祝って 宍戸 清和 会員
夜間例会記念 富田 健三郎 会員

スマイル 52,873 円 累計 1,517,873 円
財団・米山 65,000 円 累計 1,483,000 円

～ 一週一言 ～ 悟りとあきらめ

内容の有無、高低、深淺の差はあるが、五十の頃は知命の時候である。聖人に於いては悟りと云い、常人に於いてはあきらめと為す。 安岡 正篤 一日一言より

一編集後記一

今年も憂鬱な花粉飛散の時期がやってまいりました。でも、未だ症状が現れていません。放射能の影響? それとも年のせいと感度が鈍くなったのかな。(松崎)